

H31 一般前期（主問題）解答案

1 長文

【出題意図】

高等学校で習得した基礎学力、文章理解力、設問の趣旨に沿って表現する能力を問う。

問1 下線部（ア）～（オ）のカタカナを漢字に直しなさい。

（解答）（ア）極度（イ）俗語（ウ）卸値（エ）一層（オ）膨大

問2 下線部①「しかし実際には、この情報ギャップは消費者とディーラーの両方にとって困った問題を生み出している」とはどういうことか。本文の内容に即して、150字以上170字以内で述べなさい。

（解答例）

情報ギャップの存在を認識している買い手は、ディーラーの言葉を信用しないため、レモンをつかまされる可能性を考慮してより安い値段で買おうとする。これが続くと結局は中古車市場にレモンがはびこり、買い手がまともな中古車を買えなくなると同時に、売り手にとっても正直な商売ができなくなり、双方にとって望ましくない事態が発生すること。（160字）

（採点基準）

- ①中古車市場を例とした本文の内容を踏まえている
- ②消費者の直面する問題について説明できている
- ③ディーラーの直面する問題について説明できている
- ④指示された字数を守っていること
- ⑤誤字・脱字がないこと

問3 「レモン」と同じ意味で使われている言葉を本文中から3字で抜き出して答えなさい。

（解答）粗悪品

問4 下線部②「信頼の存在意義が社会的不確実性の存在を前提としている」とはどういうことか。本文の内容に即して120字以上140字以内で述べなさい。その際、「社会的不確実性」という言葉を用いること。

（解答例）

信頼の有無が問題になるのは、相手の意図についての情報が必要とされながらその情報が不足

している状態，すなわち社会的不確実性が存在しているときである。また，本文中の有名メーカーの製品の購入の例にもあるように，社会的不確実性が小さいときよりも大きいときに信頼の有無がより重要になる。(138字)

(採点基準)

- ①本文の内容を踏まえている
- ②「社会的不確実性」という言葉を正しく理解して用いている
- ③社会的不確実性が大きいときと小さいときそれぞれの信頼の重要度について触れられている
- ④指示された字数を守っていること
- ⑤誤字・脱字がないこと

問5 とに入るもっとも適切な語句を，次の選択肢から選んで記入しなさい。

安心， 予測， 信頼， 評判

(解答)

A：信頼 B：安心

2 福祉・社会

【出題意図】

- ・文章の読解力，設問に沿って適切に記述できる能力，論理的に思考する能力を問う。

問1 作者は，下線部①「固定要因」が，女性の労働力参加に与える影響についてどのように述べているか。本文の内容に即して80字以上100字以内で説明しなさい。

【解答例】

作者は固定要因の例として宗教を挙げ，イスラム教の国や，キリスト教のカソリック地域では，宗教観が女性の労働力参加を低調，あるいは不活発なものとするなど，ネガティブな影響を与えていると述べている。(96字)

【採点基準】

- ・固定要因の例として宗教を挙げていること
- ・宗教による、女性の労働力参加への影響について本文の内容に沿って記述していること
- ・指示された字数を守っていること
- ・誤字・脱字がないこと

問2 下線部②「インセンティブ」と同じ内容を指す言葉をア～エの中から選び，記号で答えなさい。

解答 ウ

問3 下線部③「制度が意図せざる結果をもたらす」とはどういうことか。本文の内容に即して130字以上150字以内で説明しなさい。

【解答例】

その制度がもともと意図していたわけではないが，制度によって結果として何らかの社会変化をもたらされるということを意味している。例えばアジアの家父長制的・性差別的な慣習は，もともと経済的な発展を意図したものではなかったが，それが結果としてアジア諸国の企業の輸出競争力を高めたと言われている。(143字)

【採点基準】

- ・もともと制度が意図していない変化が結果的にもたらされる、という点について言及していること
- ・家父長制的慣習の例に言及していること

- ・家父長制や性差別的な慣習（＝非公式な制度）は、その副産物として国の競争力を高め、経済的な発展をもたらした。これは「制度の意図せざる結果」である。この論理構造を適切に読み取り、表現できていること
- ・指示された字数を守っていること
- ・誤字・脱字がないこと

問4 作者が、下線部④「せいぜい一部しか正しくない」と述べる理由について、「U字型仮説」の内容を踏まえて、150字以上180字以内で説明しなさい。

【解答例】

「U字型仮説」では、産業構造の変化が女性をいったんは非労働力化し、その後再び労働力化することによって、女性の労働力参加の推移を示すグラフの曲線が「U字型」になることを説明している。これをもとに筆者は女性の労働力参加の変化は制度主導によってもたらされるのではなく、構造的要因によって引き起こされてきたというのが専門家の共通理解であると述べている。(172字)

【採点基準】

- ・女性の労働力参加が制度ではなく、構造主導で引き起こされた点に言及していること
- ・「U字型仮説」に言及していること
- ・第一次産業が基幹産業である場合、その労働特性（家族制労働、単純軽作業等）上、女性の労働力参加は高まる。それが第二次産業に移行すると、そこで求められる労働力の特性上（工場制労働、肉体重労働等）、女性の労働力参加は低下する。第三次産業が支配的になると、オフィスワークや対人サービスが拡大し再び女性の労働力参加が高まる。こうした産業構造とそこで求められる労働力特性の変化と女性の労働力参加の変化を対応させてとらえる論理構造を適切に読み取れていること
- ・指示された字数を守っていること
- ・誤字・脱字がないこと

問5 現在の日本において、二重下線部「変化を引き起こすべくつくられた制度」にはどのようなものがあるか。具体的な制度（介護保険制度を除く）を挙げ、その内容を180字以上200字以内で説明しなさい。その際、「構造」「制度」「政策」の用語をすべて用いること。

【解答例】

高校授業料無償化は、教育にかかる経済的負担を軽減し、教育機会の実質的均等化を図ろうとする政策方針のもと導入された制度である。近年、経済的な格差が広がるなかで、経済的理由によって就学の機会を失った子どもは、安定的な職業に就くことができず、結果として、子ども自

身も貧困状態に陥ってしまうといった問題が指摘されている。こうした貧困の再生産を防ぎ、格差構造を是正する目的で高校授業料無償化が実施されている。(199字)

【採点基準】

- ・教育法制，労働法制，社会保障制度，地方活性化，生活困窮者支援など，具体的な制度・政策とその内容に触れていること
- ・「構造」「制度」「政策」の語が適切に使用されていること
- ・記述における論理構成・展開が的確であること

3 英文

[出題意図]

これまでの学習で培ってきた学力と基礎的な英語の知識を前提として、受験者が、(i) 英文を正確に把握できる「英語読解力」、(ii) 読解した英文の内容について、適切かつ簡潔な表現で説明を与えられる「日本語表現力」、および (iii) 平易な語彙と文法を用いた「英語表現力」を備えているかを問う。これら3つの力は、本学へ入学後に、英語で書かれた文献等を用いて専門領域に対する理解を深め、かつ自らの研究・実践の成果を積極的に発信し、多様な文化的背景を持つ人々と英語を共通言語としてコミュニケーションを図り、さらには、そういった人びとと将来にわたって協働していく技術や態度を身につける上で、必要不可欠なものとする。

問1 文中の空欄（ア）に入る適切な語を、次の(A)から(C)の中から選び、記号で書きなさい。

(A) see (B) seeing (C) seen

解答：(A)

問2 次の語を並べ替えて、文中の空欄（イ）に入る、最も適切な英語の表現を作りなさい。

cognitive function tests / compulsory / elderly drivers / for / get / it / make / to

解答：make / it / compulsory / for / elderly drivers / to / get / cognitive function tests

問3 下線部①を日本語に訳しなさい。

解答例：地方では自動車は不可欠な移動手段なので、自治体や地域は、運転できなくなった高齢者に対して、他の交通手段を提供するよう努めなければならない。

問4 2003年に75歳以上の運転者が引き起こした重大事故の件数を、本文の記述に基づいて算出して書きなさい。ただし、小数点以下は切り捨てること。

解答：381

問5 下線部②の **bracket** と同じ意味で用いられている語を、本文中から抜き出し、英語で書きなさい。

解答 : category

問 6 下線部③の They が指示する名詞句を本文中から抜き出し, 英語で書きなさい。 5

解答 : people suffering from impaired memory and judgment

4 数理

<出題意図>

- ・表のデータをもとに、適切な計算を行う力を問う。
- ・表で示されたデータから群間の差や傾向を読み取り、文章に表現する力を問う。
- ・表を読み取る力を問う。

<解答例>

問1 性・年齢階級別にみた受療率の傾向を述べた下記の文章の空欄にもっとも適切な言葉や数字を記入しなさい。なお、年齢を記す場合は、年齢階級を用いること。

入院の受療率において、年齢別でみると0歳が男女ともに高く、その後低下するが、入院総数はア歳から増加傾向になり、その傾向はイまで続く(ただし35~49歳の女性を除く)。それに対し、外来の受療率は、同じく年齢別でみるとウ歳まで総数よりも高い割合を示すが、その後、ア歳において最も低い外来患者総数の数値を示す。それから再び、外来総数は増加傾向に転じ、外来男性患者の受療率はエ歳まで増加するのに対し、外来女性患者のそれは、75~79歳が最も高い数値を示している。その後、外来患者の受療率は、男女ともに低下する。つまり、入院患者の受療率は、オ児及びカ者が多く、概ね小中学生の年代が少ない傾向にあるのに対し、外来患者の受療率は、乳幼児及びカ者が多く、概ね高校生の年代が最も低い割合を示している。

(解答) ア 15~19 イ 90歳以上 ウ 1~4 エ 80~84 オ 乳 カ 高齢

問2 平成26年の受療率(人口10万対)において、外来の女性(総数)に対する男性(総数)の割合(%)を答えなさい。なお、必要があれば小数第2位を四捨五入して小数第1位まで記すこと。

(解答) 80.5%

問3 平成26年の総人口を仮に127,083,000人とした場合、入院患者総数は何人か答えなさい。なお、必要があれば小数第1位を四捨五入して整数で記すこと。

(解答) 1,319,122人

問4 平成26年の総人口を仮に127,083,000人とした場合、実際の外来患者数に対する入院患者数の割合(%)を答えなさい。なお、必要があれば小数第2位を四捨五入して小数第1位まで記すこと。

(解答) 18.2%

問5 傷病分類別にみた受療率の傾向を述べた下記の文章の空欄に適切な傷病分類の番号①～⑳を記入しなさい。

入院と外来の総数における受療率(人口10万対)の差が2番目に小さい傷病分類は で、両者の差が最も大きい傷病分類は で、その差の比率が最も大きい傷病分類は である。また、入院による男女間の受療率の差は、 において女性に比して男性の受療率が最も高いのに対し、 において男性の受療率に比して女性の受療率が顕著に高い。他方、外来においては、 の男女間の受療率は等しいものの、 や は女性の受療率が男性に比して極めて高い数値を示している。

(解答) キ ⑮ 妊娠, 分娩及び産じょく ク ⑪ 消化器系の疾患 ケ ⑳ 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用 コ ② 新生物 サ ⑰ 損傷, 中毒及びその他の外因の影響 シ ⑯ 周産期に発生した病態 ス ⑬ 筋骨格系及び結合組織の疾患